

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 4 年 6 月 1 0 日

出 願 番 号
Application Number: 特 願 2 0 0 4 - 1 7 2 5 2 9

パリ条約による外国への出願
に用いる優先権の主張の基礎
となる出願の国コードと出願
番号

The country code and number
of your priority application,
to be used for filing abroad
under the Paris Convention, is

J P 2 0 0 4 - 1 7 2 5 2 9

出 願 人
Applicant(s): バイオニア株式会社

2 0 0 5 年 7 月 2 0 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川



【書類名】	付訂願
【整理番号】	58P0821
【あて先】	特許庁長官 殿
【国際特許分類】	G11B 7/0045
【発明者】	
【住所又は居所】	埼玉県所沢市花園4丁目2610番地 バイオニア株式会社 所 所沢工場内
【氏名】	谷口 昭史
【発明者】	
【住所又は居所】	埼玉県所沢市花園4丁目2610番地 バイオニア株式会社 所 所沢工場内
【氏名】	村松 英治
【発明者】	
【住所又は居所】	埼玉県所沢市花園4丁目2610番地 バイオニア株式会社 所 所沢工場内
【氏名】	鈴木 敏雄
【発明者】	
【住所又は居所】	埼玉県所沢市花園4丁目2610番地 バイオニア株式会社 所 所沢工場内
【氏名】	加藤 正浩
【発明者】	
【住所又は居所】	埼玉県所沢市花園4丁目2610番地 バイオニア株式会社 所 所沢工場内
【氏名】	黒田 和男
【発明者】	
【住所又は居所】	埼玉県所沢市花園4丁目2610番地 バイオニア株式会社 所 所沢工場内
【氏名】	堀川 邦彦
【特許出願人】	
【識別番号】	000005016
【氏名又は名称】	バイオニア株式会社
【代理人】	
【識別番号】	100104765
【弁理士】	
【氏名又は名称】	江上 達夫
【電話番号】	03-5524-2323
【連絡先】	担当
【選任した代理人】	
【識別番号】	100107331
【弁理士】	
【氏名又は名称】	中村 聡延
【電話番号】	03-5524-2323
【手数料の表示】	
【予納台帳番号】	131946
【納付金額】	16,000円
【提出物件の目録】	
【物件名】	特許請求の範囲 1
【物件名】	明細書 1
【物件名】	図面 1
【物件名】	要約書 1

.

.

【請求項 1】

記録情報の少なくとも一部である第 1 情報を記録するための第 1 記録層と、
該第 1 記録層上に配置されると共に、前記記録情報の少なくとも他の一部である第 2 情報を夫々記録するための一又は複数の第 2 記録層と
を備えており、

前記第 2 記録層の各層は、該各層よりも前記第 1 記録層側に位置する前記第 2 記録層の他の層及び前記第 1 記録層を透過した記録用レーザ光の最適記録パワーを検出するパワーキャリブレーションが行われる所定領域を有し、

前記他の層及び前記第 1 記録層における、前記所定領域に対向する対向領域では、エンボスピットが形成されることによって、当該対向領域における光透過率が、前記エンボスピットが形成されておらず且つ前記他の層及び前記第 1 記録層が未記録であると仮定した場合の光透過率と比べて、前記エンボスピットが形成されておらず且つ前記他の層及び前記第 1 記録層が記録済みであると仮定した場合の光透過率に近付けられていることを特徴とする情報記録媒体。

【請求項 2】

前記対向領域では、前記エンボスピットが形成されることによって、当該対向領域における光透過率が、前記エンボスピットが形成されておらず且つ前記他の層及び前記第 1 記録層が記録済みであると仮定した場合の光透過率に等しくされていることを特徴とする請求項 1 に記載の情報記録媒体。

【請求項 3】

前記所定領域は、前記対向領域よりも小さい領域であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報記録媒体。

【請求項 4】

前記対向領域においては、前記記録情報を暗号化又は復号化するための暗号化情報が、前記エンボスピットが形成されることによって記録されていることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の情報記録媒体。

【請求項 5】

前記対向領域においては、前記記録情報の記録動作及び再生動作のうち少なくとも一方を制御するための制御情報が、前記エンボスピットが形成されることによって記録されていることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の情報記録媒体。

【請求項 6】

前記第 1 記録層及び第 2 記録層の各層のうち少なくとも一つは、管理情報を記録する管理情報記録領域を更に有し、

前記管理情報記録領域には、前記管理情報として、前記エンボスピットが前記対向領域に形成されているか否かを識別する識別情報が記録されていることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の情報記録媒体。

【請求項 7】

前記他の層及び前記第 1 記録層は、前記対向領域と異なる領域に、前記他の層及び前記第 1 記録層に対する前記パワーキャリブレーションが行われる第 1 所定領域を夫々有することを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の情報記録媒体。

【請求項 8】

前記第 2 記録層の各層は、前記所定領域と異なる領域であって、前記対向領域に対向しない領域に、前記第 2 記録層の各層に対する前記パワーキャリブレーションが行なわれる第 2 所定領域を夫々有することを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の情報記録媒体。

【請求項 9】

前記第 1 記録層及び第 2 記録層の各層のうち少なくとも一つは、前記検出された最適記録パワーの値を記録する管理領域を更に有することを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の情報記録媒体。

【請求項 10】

請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の情報記録媒体に、前記記録情報を記録するための情報記録装置であって、

前記記録用レーザ光を前記第 1 記録層に集光するように照射することで前記第 1 記録層に対して前記記録情報の少なくとも他の一部である試し書き情報を書き込み、前記記録用レーザ光を前記第 2 記録層の各層に集光するように照射することで前記第 2 記録層の各層に対して前記試し書き情報を書き込むための書込手段と、

(I) 前記対向領域を介して、前記所定領域において、前記第 2 記録層の各層に対する前記記録用レーザ光のパワーキャリブレーションのための前記試し書き情報を試し書きすると共に、(I I) 前記対向領域と異なる領域に有される第 1 所定領域において、前記他の層及び前記第 1 記録層に対する前記記録用レーザ光のパワーキャリブレーションのための前記試し書き情報を試し書きするように前記書込手段を制御する試し書き制御手段とを備えたことを特徴とする情報記録装置。

【請求項 11】

請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の情報記録媒体に、前記記録情報を記録するために、前記記録情報の少なくとも他の一部である試し書き情報を書き込むための書込手段を備えた情報記録装置における情報記録方法であって、

(I) 前記対向領域を介して、前記所定領域において、前記第 2 記録層の各層に対する前記記録用レーザ光のパワーキャリブレーションのための前記試し書き情報を試し書きすると共に、(I I) 前記対向領域と異なる領域に有される第 1 所定領域において、前記他の層及び前記第 1 記録層に対する前記記録用レーザ光のパワーキャリブレーションのための前記試し書き情報を試し書きするように前記書込手段を制御する試し書き制御工程とを備えたことを特徴とする情報記録方法。

【発明の名称】 情報記録媒体、並びに情報記録装置及び方法

【技術分野】

【0001】

本発明は、例えばDVD等の情報記録媒体、並びに例えばDVDレコーダ等の情報記録装置及び方法の技術分野に関する。

【背景技術】

【0002】

例えば、CD、DVD等の情報記録媒体では、同一基板上に複数の記録層が積層されてなる多層型若しくはデュアルレイヤ又はマルチプルレイヤ型の光ディスク等も開発されている。そして、このような二層型の光ディスクを記録する、CDレコーダ等の情報記録装置では、レーザ光の照射側から見て最も手前側に位置する記録層（本願では適宜「L0層」と称する）に対して記録用のレーザ光を集光することで、L0層に対して情報を加熱などによる非可逆変化記録方式や書換え可能方式で記録し、L0層等を介して、レーザ光の照射側から見てL0層の奥側に位置する記録層（本願では適宜「L1層」と称する）に対して該レーザ光を集光することで、L1層に対して情報を加熱などによる非可逆変化記録方式や書換え可能方式で記録することになる。

【0003】

また、この種の光ディスク等へデータ情報を記録する場合においては、光ディスクの種類、情報記録再生装置の種類及び記録速度等に応じて、OPC（Optimum Power Control）処理により、最適な記録レーザーパワー（本願では適宜「最適記録パワー」と称する）が設定される。即ち、記録パワーのキャリブレーション（較正）が行われる。これにより、光ディスクにおける情報記録面の特性のばらつき等に対応した適切な記録動作を実現できる。例えば、光ディスクが装填されて書き込みのコマンドが入力されると、順次段階的に光強度が切り換えられて試し書き用のデータがOPCエリアに記録され、いわゆる試し書きの処理が実行される。特に、二層の記録層の夫々にOPCエリアが設けられており、これら二層に対して夫々OPC処理を行う技術が開示されている。

【0004】

加えて、2層型光ディスクの場合は、L1層における最適記録パワーの検出にはレーザ光が透過するL0層における2種類の記録状態に適切に対応する必要がある。通常、L0層が記録済み状態の場合には、L0層におけるL1層への光透過率が低下し、最適記録パワーの値が増加するからである。他方、L0層が未記録状態の場合には、L0層におけるL1層への光透過率は比較的に高く、最適記録パワーの値は減少する。

【0005】

そこで、特許文献1等に記載されているように、L1層におけるOPC処理を行なう場合、最初に、L0層へデータ情報の記録を行い、次に、L1層におけるOPC処理をより適切に行なう技術も開示されている。

【0006】

【特許文献1】 特開2001-52337号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

しかしながら、上述したL1層におけるOPC処理において、最適記録パワーの検出を行なうにあたり、レーザ光が透過するL0層を記録状態にする処理を行わなければならないという技術的な問題点がある。

【0008】

本発明は、例えば上述した従来の問題点に鑑みなされたものであり、例えば複数の記録層の夫々について、効率的に試し書きを行なうことが可能であると共に効率的に記録情報を記録することが可能である多層型の情報記録媒体、並びにそのような情報記録媒体に情報を効率的に記録し得る情報記録装置及び方法を提供することを課題とする。

【0009】

本発明の請求項1に記載の情報記録媒体は上記課題を解決するために、記録情報の少なくとも一部である第1情報を記録するための第1記録層と、該第1記録層上に配置されると共に、前記記録情報の少なくとも他の一部である第2情報を夫々記録するための一又は複数の第2記録層とを備えており、前記第2記録層の各層は、該各層よりも前記第1記録層側に位置する前記第2記録層の他の層及び前記第1記録層を透過した記録用レーザ光の最適記録パワーを検出するパワーキャリブレーション（較正）が行われる所定領域を有し、前記他の層及び前記第1記録層における、前記所定領域に対向する対向領域では、エンボスピットが形成されることによって、当該対向領域における光透過率が、前記エンボスピットが形成されておらず且つ前記他の層及び前記第1記録層が未記録であると仮定した場合の光透過率と比べて、前記エンボスピットが形成されておらず且つ前記他の層及び前記第1記録層が記録済みであると仮定した場合の光透過率に近付けられている。

【0010】

本発明の請求項10に記載の情報記録装置は上記課題を解決するために、請求項1から9のいずれか一項に記載の情報記録媒体に、前記記録情報を記録するための情報記録装置であって、前記記録用レーザ光を前記第1記録層に集光するように照射することで前記第1記録層に対して前記記録情報の少なくとも他の一部である試し書き情報を書き込み、前記記録用レーザ光を前記第2記録層の各層に集光するように照射することで前記第2記録層の各層に対して前記試し書き情報を書き込むための書込手段と、（I）前記対向領域を介して、前記所定領域において、前記第2記録層の各層に対する前記記録用レーザ光のパワーキャリブレーションのための前記試し書き情報を試し書きすると共に、（II）前記対向領域と異なる領域に有される第1所定領域において、前記他の層及び前記第1記録層に対する前記記録用レーザ光のパワーキャリブレーションのための前記試し書き情報を試し書きするように前記書込手段を制御する試し書き制御手段とを備える。

【0011】

本発明の請求項11に記載の情報記録方法は上記課題を解決するために、請求項1から9のいずれか一項に記載の情報記録媒体に、前記記録情報を記録するために、前記記録情報の少なくとも他の一部である試し書き情報を書き込むための書込手段を備えた情報記録装置における情報記録方法であって、（I）前記対向領域を介して、前記所定領域において、前記第2記録層の各層に対する前記記録用レーザ光のパワーキャリブレーションのための前記試し書き情報を試し書きすると共に、（II）前記対向領域と異なる領域に有される第1所定領域において、前記他の層及び前記第1記録層に対する前記記録用レーザ光のパワーキャリブレーションのための前記試し書き情報を試し書きするように前記書込手段を制御する試し書き制御工程とを備える。

【0012】

本発明の作用及び利得は次に説明する実施の形態から明らかにされる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0013】

（情報記録媒体に係る実施形態）

本発明の情報記録媒体に係る実施形態は、記録情報の少なくとも一部である第1情報を記録するための第1記録層と、該第1記録層上に配置されると共に、前記記録情報の少なくとも他の一部である第2情報を夫々記録するための一又は複数の第2記録層とを備えており、前記第2記録層の各層は、該各層よりも前記第1記録層側に位置する前記第2記録層の他の層及び前記第1記録層を透過した記録用レーザ光の最適記録パワーを検出するパワーキャリブレーション（較正）が行われる所定領域を有し、前記他の層及び前記第1記録層における、前記所定領域に対向する対向領域では、エンボスピットが形成されることによって、当該対向領域における光透過率が、前記エンボスピットが形成されておらず且つ前記他の層及び前記第1記録層が未記録であると仮定した場合の光透過率と比べて、前記エンボスピットが形成されておらず且つ前記他の層及び前記第1記録層が記録済みであ

るに限定した場合の光透過率に近付いている。

【0014】

本発明の情報記録媒体に係る実施形態によれば、例えば、ディスク状の基板の一方の面上に、第1記録層、並びに、一又は複数の第2記録層が積層されており、当該情報記録媒体は、2層型或いは多層型の例えばDVD或いは光ディスク等である。第1記録層には、例えば音声、映像情報或いはコンテンツ情報等の記録情報が記録可能とされている。第2記録層の各層には、例えば音声、映像情報或いはコンテンツ情報等の記録情報が記録可能とされている。このように構成されているので、記録用又は再生用レーザ光は、基板、第1記録層、第2記録層の他の層、及び、第2記録層の各層の順番に照射される。より具体的には、第2記録層の各層が、記録用レーザ光が照射される方向から数えて、2層目であれば、第2記録層の他の層は存在しない。また、第2記録層の各層が、3層目であれば、第2記録層の他の層は、1層だけ存在する。更にまた、第2記録層の各層が、4層目であれば、第2記録層の他の層は、2層だけ存在する。

【0015】

第2記録層の各層には、記録用レーザ光の最適記録パワーを検出するパワーキャリブレーション（較正）が行われる、例えば、OPCエリア等の所定領域が設けられている。

【0016】

本実施形態では特に、第2記録層の他の層及び第1記録層には、所定領域に対向する対向領域が設けられている。この対向領域には、エンボスピットが形成されることによって、記録用レーザ光の光透過率を調節可能である。仮に、第2記録層の他の層及び第1記録層の対向領域にエンボスピットが形成されていない場合、第2記録層の各層の所定領域における最適記録パワーを適切に検出するためには、後述される情報記録装置によって、レーザ光が透過する第2記録層の他の層及び第1記録層の対向領域を記録済み状態にする処理が必要となってしまう。

【0017】

これに対して、本実施形態によれば、例えば、光ディスク等の情報記録媒体の製造時に、第2記録層の他の層及び第1記録層に設けられた対向領域にエンボスピットが形成されることによって、対向領域における第2記録層の各層の所定領域への光透過率を、エンボスピットが形成されておらず且つ第2記録層の他の層及び第1記録層が未記録であると仮定した場合の光透過率と比べて、エンボスピットが形成されておらず且つ第2記録層の他の層及び第1記録層が記録済みであると仮定した場合の光透過率に近づけることが可能である。従って、後述される情報記録装置によって、第2記録層の各層に対してOPC処理を行う前に、第2記録層の他の層及び第1記録層を記録済みの状態にするための記録動作を省略することが可能である。以上より、より迅速且つ的確に、第2記録層の各層に対する最適記録パワーの値を検出することが可能となる。

【0018】

尚、上述のように、対向領域における光透過率が、このエンボスピットが形成されておらず且つ第2記録層の他の層及び第1記録層が未記録であると仮定した場合の光透過率と比べて、このエンボスピットが形成されておらず且つ第2記録層の他の層及び第1記録層が記録済みであると仮定した場合の光透過率に近付けられているように第2記録層の他の層及び第1記録層の対向領域を形成するには、例えば、実験的、経験的又は理論的若しくはシミュレーション等により、このエンボスピットが形成されることによって、個別具体的に、所望の光透過率が得られるようにすればよい。

【0019】

本発明の情報記録媒体に係る実施形態の一態様では、前記対向領域では、前記エンボスピットが形成されることによって、当該対向領域における光透過率が、前記エンボスピットが形成されておらず且つ前記他の層及び前記第1記録層が記録済みであると仮定した場合の光透過率に等しくされている。

【0020】

この態様によれば、第2記録層の他の層及び第1記録層を記録済みであると仮定した場

ロの光透過率に等しく、等しいための記録動作を元玉に目暗りすることが可能である。ここに「等しく」とは、完全に等しいことその他、パワーキャリブレーションを行なう際に、同一視できる程度に等しい光透過率である意味を含む。

【0021】

本発明の情報記録媒体に係る実施形態の他の態様では、前記所定領域は、前記対向領域よりも小さい領域である。

【0022】

この態様によれば、第2記録層の各層におけるOPC処理が行われる所定領域を、対向する第2記録層の他の層及び第1記録層におけるエンボスピットが形成された対向領域より小さくするので、二層型の光ディスクにおける層間での偏心の影響やレーザ光の広がり等のためのマージンを確保することが可能となるので、より適切に、第2記録層の各層に対する最適記録パワーの値を検出することが可能となる。

【0023】

本発明の情報記録媒体に係る実施形態の他の態様では、前記対向領域においては、前記記録情報を暗号化又は復号化するための暗号化情報が、前記エンボスピットが形成されることによって記録されている。

【0024】

この態様によれば、エンボスピットにおいては、光透過率の調節のために形成されると共に、例えば、記録型光ディスクにおいて、著作権保護を目的とした特定の記録情報を暗号化又は復号化するためのエンクリプションキー（暗号化鍵）又は、複製管理情報（CCI: Copy Control Information）等の暗号化情報が記録されることによって、より効率的な記録領域の利用が可能となる。

【0025】

本発明の情報記録媒体に係る実施形態の他の態様では、前記対向領域においては、前記記録情報の記録動作及び再生動作のうち少なくとも一方を制御するための制御情報が、前記エンボスピットが形成されることによって記録されている。

【0026】

この態様によれば、エンボスピットは、光透過率の調節のために形成されると共に、例えば、記録型光ディスクにおいて、記録情報の記録動作及び再生動作のうち少なくとも一方を制御するための制御情報が記録されることによって、より効率的な記録領域の利用が可能となる。

【0027】

本発明の情報記録媒体に係る実施形態の他の態様では、前記第1記録層及び第2記録層の各層のうち少なくとも一つは、管理情報を記録する管理情報記録領域を更に有し、

前記管理情報記録領域には、前記管理情報として、前記エンボスピットが前記対向領域に形成されているか否かを識別する識別情報が記録されている。

【0028】

この態様によれば、例えば、フラグ等の識別情報が、後述される情報記録装置によって、例えばシーク動作によって、読み取られるので、より迅速且つ的確に情報記録媒体に適したOPC処理を実現することが可能となる。

【0029】

本発明の情報記録媒体に係る実施形態の他の態様では、前記他の層及び前記第1記録層は、前記対向領域と異なる領域に、前記他の層及び前記第1記録層に対する前記パワーキャリブレーションが行われる第1所定領域を夫々有する。

【0030】

この態様によれば、第2記録層の各層に設けられた所定領域では、エンボスピットを介して、当該第2記録層の各層に対するパワーキャリブレーションが行なわれる。他方、第2記録層の他の層及び第1記録層に設けられた第1所定領域では、当該第2記録層の他の層及び第1記録層に対するパワーキャリブレーションが行なわれる。

【0031】

試し書き制御手段による制御下で、上述した本発明に係る情報記録媒体に係る実施形態に対して、少なくとも2つの記録層に対するOPC処理を、例えば光ピックアップ等を含んでなる書込手段によって、効率的に行なうことができる。

【0041】

即ち、例えば、光ディスク等の情報記録媒体の製造時に第2記録層の他の層及び第1記録層に設けられた対向領域にエンボスピットが形成されることによって、対向領域における所定領域への光透過率を、記録済み状態の対向領域の光透過率と殆ど又は完全に同じにすることが可能である。従って、試し書き制御手段の制御下で、書込手段によって、第2記録層の各層に対してOPC処理を行う前に、第2記録層の他の層及び第1記録層を記録済みの状態にするための記録動作を、適宜場合に応じて、省略することが可能となる。よって、本実施形態の情報記録装置によれば、より迅速且つ的確に、第2記録層の各層に対する最適記録パワーの値を検出することが可能となる。

【0042】

尚、本発明の情報記録装置に係る実施形態においても、上述した本発明の情報記録媒体に係る実施形態についての各種態様と同様の態様を適宜採ることが可能である。

【0043】

（情報記録方法に係る実施形態）

以下、本発明の実施形態に係る情報記録方法について説明する。

【0044】

本発明の情報記録方法に係る実施形態は、請求項1から9のいずれか一項に記載の情報記録媒体に、前記記録情報を記録するために、前記記録情報の少なくとも他の一部である試し書き情報を書き込むための書込手段を備えた情報記録装置における情報記録方法であって、（I）前記対向領域を介して、前記所定領域において、前記第2記録層の各層に対する前記記録用レーザ光のパワーキャリブレーションのための前記試し書き情報を試し書きすると共に、（II）前記対向領域と異なる領域に有される第1所定領域において、前記他の層及び前記第1記録層に対する前記記録用レーザ光のパワーキャリブレーションのための前記試し書き情報を試し書きするように前記書込手段を制御する試し書き制御工程とを備える。

【0045】

本発明の情報記録方法に係る実施形態によれば、上述した本発明の情報記録装置に係る実施形態の場合と同様に、試し書き制御工程の制御下で、第2記録層の各層に対してOPC処理を行う前に、第2記録層の他の層及び第1記録層を記録済みの状態にするための記録動作を、適宜場合に応じて、省略することが可能となる。よって、本実施形態の情報記録方法によれば、より迅速且つ的確に、第2記録層の各層に対する最適記録パワーの値を検出することが可能となる。

【0046】

尚、本発明の情報記録方法に係る実施形態においても、上述した本発明の情報記録装置に係る実施形態についての各種態様と同様の態様を適宜採ることが可能である。

【0047】

本実施形態のこのような作用及び他の利得は次に説明する実施例から更に明らかにされる。

【0048】

以上説明したように、本発明の情報記録媒体に係る実施形態によれば、光透過率を調節可能なエンボスピットによって形成された対向領域が設けられた第1記録層及び第2記録層の他の層、並びに、所定領域が設けられた第2記録層の各層を備えるので、より迅速且つ的確に、第2記録層の各層に対する最適記録パワーの値を検出することが可能となる。また、本発明の情報記録装置及び方法に係る実施形態によれば、書込手段、並びに、試し書き制御手段及び工程を備えているので、より迅速且つ的確に、第2記録層の各層に対する最適記録パワーの値を検出することが可能となる。

【実施例】

（情報記録媒体の第1実施例）

次に、図1から図4を参照して、本発明の情報記録媒体の第1実施例に係る光ディスクについて図面に基づいて詳細に説明する。尚、説明の便宜上、図1及び図2においては、レーザ光は、上側から下側へ向けて、照射されている。よって、L0層（第1記録層）は、上側に位置している。他方、図3から図6においては、レーザ光は、下側から上側へ向けて照射されている。よって、L0層（第1記録層）は、下側に位置している。

【 0 0 5 0 】

先ず図1を参照して、本発明の情報記録媒体の第1実施例に係る光ディスクの基本構造について説明する。ここに、図1（a）は、本発明の情報記録媒体の第1実施例に係る複数の記録領域を有する光ディスクの基本構造を示した概略平面図であり、図1（b）は、該光ディスクの概略断面図と、これに対応付けられた、その半径方向における記録領域構造の図式的概念図である。

【 0 0 5 1 】

図1（a）及び図1（b）に示されるように、光ディスク100は、例えば、DVDと同じく直径12cm程度のディスク本体上の記録面に、センターホール1を中心として本実施例に係るリードインエリア101、データエリア102並びにリードアウトエリア103又はミドルエリア104が設けられている。特に、例えば、リードインエリア101には、OPC処理を行うOPCエリアPCA0又はPCA1が設けられている。そして、光ディスク100の例えば、透明基板106に、記録層等が積層されている。そして、この記録層の各記録領域には、例えば、センターホール1を中心にスパイラル状或いは同心円状に、例えば、グルーブトラック及びランドトラック等のトラック10が交互に設けられている。また、このトラック10上には、データがECCブロック11という単位で分割されて記録される。ECCブロック11は、記録情報がエラー訂正可能なプリフォーマットアドレスによるデータ管理単位である。

【 0 0 5 2 】

尚、本発明は、このような三つのエリアを有する光ディスクには特に限定されない。例えば、リードインエリア101、リードアウトエリア103又はミドルエリア104が存在せずとも、以下に説明するデータ構造等の構築は可能である。また、後述するように、リードインエリア101、リードアウト103又はミドルエリア104は更に細分化された構成であってもよい。

【 0 0 5 3 】

特に、本実施例に係る光ディスク100は、図1（b）に示されるように、例えば、透明基板106に、後述される本発明に係る第1及び第2記録層の一例を構成するL0層及びL1層が積層された構造をしている。このような二層型の光ディスク100の記録再生時には、図1（b）中、上側から下側に向かって照射されるレーザ光LBの集光位置をいずれの記録層に合わせるかに応じて、L0層における記録再生が行なわれるか又はL1層における記録再生が行われる。また、本実施例に係る光ディスク100は、2層片面、即ち、デュアルレイヤーシングルサイドに限定されるものではなく、2層両面、即ちデュアルレイヤーダブルサイドであってもよい。更に、上述の如く2層の記録層を有する光ディスクに限られることなく、3層以上の多層型の光ディスクであってもよい。

【 0 0 5 4 】

尚、2層型光ディスクにおける記録再生手順は、例えば二つの記録層の間でトラックバスの方向が逆向きであるオボジット方式でもよいし、例えば二つの記録層の間でトラックバスの方向が同一であるパラレル方式でもよい。

【 0 0 5 5 】

次に図2を参照して、本発明の情報記録媒体の第1実施例に係る光ディスクの物理的構成の概略について説明する。より具体的には、第1実施例に係る光ディスク100では、複数のデータゾーン102等が例えば積層構造に形成される2層型の光ディスクとして構成されている。ここに、図2は、本発明の情報記録媒体の第1実施例に係る光ディスクの

【0056】

図2に示されるように、第1実施例では、光ディスク100は、ディスク状の透明基板106に面して下側に、情報記録面を構成する相変化型又は加熱などによる非可逆変化記録型の第1記録層(L0層)107が積層され、更にその下側に、半透過反射膜108が積層されている。第1記録層107の表面からなる情報記録面には、グルーブトラックGT及びランドトラックLTが交互に形成されている。尚、光ディスク100の記録時及び再生時には、例えば図2に示したように、透明基板106を介してグルーブトラックGT上に、レーザ光LBが照射される。例えば、記録時には、記録レーザパワーでレーザ光LBが照射されることで、記録データに応じて、第1記録層107への相変化による書き込み又は加熱などによる非可逆変化記録が実施される。他方、再生時には、記録レーザパワーよりも弱い再生レーザパワーでレーザ光LBが照射されることで、第1記録層107へ書き込みされた記録データの読出しが実施される。

【0057】

第1実施例では、グルーブトラックGTは、一定の振幅及び空間周波数で揺動されている。即ち、グルーブトラックGTは、ウォブリングされており、そのウォブル109の周期は所定値に設定されている。ランドトラックLT上にはプリフォーマットアドレス情報を示すランドブリビットLPと呼ばれるアドレスビットが形成されている。この2つのアドレスシンク(即ち、ウォブル109及びランドブリビットLP)により記録中のディスク回転制御や記録クロックの生成、また記録アドレス等のデータ記録に必要な情報を得ることができる。尚、グルーブトラックGTのウォブル109を周波数変調や位相変調など所定の変調方式により変調することによりプリフォーマットアドレス情報を予め記録するようにしてもよい。

【0058】

第1実施例では特に、半透過反射膜108に面して下側に、第2記録層(L1層)207が形成され、更にその下側に、反射膜208が形成されている。第2記録層207は、透明基板106、第1記録層107及び半透過反射膜108を介してレーザ光LBが照射されることで、第1記録層107と概ね同様に、相変化型又は加熱などによる非可逆変化記録型の記録及び再生が可能なように構成されている。このような第2記録層207及び反射膜208については、第1記録層107及び半透過反射膜108等が形成された透明基板106上に積層、即ち、成膜形成してもよいし、別基板上に積層、即ち、成膜形成した後に、これを透明基板106に貼り合わせるようにしてもよい。尚、半透過反射膜108と第2記録層207との間には、製造方法に応じて適宜、透明接着剤等からなる透明な中間層205が設けられる。

【0059】

このような二層型の光ディスク100の記録再生時には、レーザ光LBの集光位置、即ち、フォーカスをいずれの記録層に合わせるかに応じて、第1記録層107における記録再生が行なわれるか又は第2記録層207における記録再生が行われる。

【0060】

次に、図3及び図4を参照して、本発明の情報記録媒体の第1実施例に係る光ディスクについてOPC処理において使用されるOPCエリアについてより詳細に説明する。ここに、図3は、本発明の情報記録媒体の第1実施例に係る光ディスクのOPC処理において使用されるOPCエリアの物理的構造を拡大した図式的断面図である。図4は、比較例に係る光ディスクのOPC処理において使用されるOPCエリアの物理的構造を拡大した図式的断面図である。

【0061】

図3に示すように、光ディスク100は、2層の記録層、即ち、L0層(即ち、図1及び図2における第1記録層107に相当する記録層)とL1層(即ち、図1及び図2における第2記録層207に相当する記録層)とを有している。尚、説明の便宜上、記録用レーザ光LBは、図1及び図2とは逆に下側から上側へ向かって照射されている。

【 0 0 6 2 】

L 0 層には、例えば、リードインエリア内に、本発明に係る「対向領域」の一例を構成するエンボスピットで形成された透過エリア T A、並びに、未記録状態の T A 0 - 2 が設けられている。

【 0 0 6 3 】

他方、L 1 層には、例えば、リードインエリア内に、O P C エリア P C A 1 が設けられている。そして、O P C エリア P C A 1 には、更に、本発明に係る「所定領域」の一例を構成する O P C エリア P C A 1 - 1 及び P C A 1 - 2 が設けられている。

【 0 0 6 4 】

詳細には、O P C エリア P C A 1 は、最適記録パワーの検出（即ち、記録レーザパワーのキャリブレーション）処理、所謂 O P C 処理に用いられる領域である。特に、O P C エリア P C A 1 は、L 1 層の最適な記録レーザパワーの検出のために用いられる。より詳細には、O P C パターンの試し書きの完了後には、試し書きされた O P C パターンが再生され、再生された O P C パターンのサンプリングが順次行われて、最適記録パワーが検出される。また、O P C 処理により求めた最適記録パワーの値が例えば、情報記録装置側に設けられた後述されるメモリ等の記憶装置内に格納されてもよいし、情報記録媒体における管理情報記録領域等に記録されていてもよい、或いは、記録動作の度に O P C 処理が行われてもよい。

【 0 0 6 5 】

そして、L 0 層及び L 1 層に対して、後述される情報記録再生装置の光ピックアップによって、O P C 処理のためのレーザ光 L B は、図示しない基板の側から、即ち、図 3 中の下側から上側に向けて照射され、その焦点距離等が制御されると共に、光ディスク 1 0 0 の半径方向における移動距離及び方向が制御される。

【 0 0 6 6 】

特に、第 1 実施例に係る光ディスク 1 0 0 では、例えば、光ディスクの製造時に L 0 層に設けられた透過エリア T A にエンボスピットが形成される。よって、透過エリア T A における L 1 層の O P C エリア P C A 1 - 1 への光透過率を、後述の図 4 において説明される比較例に係る記録済み状態の透過エリア T A 0 - 1 の光透過率と殆ど又は完全に同じにすることが可能である。或いは、エンボスピットが形成されておらず且つ L 0 層が未記録であると仮定した場合の光透過率と比べて、エンボスピットが形成されておらず且つ L 0 層が記録済みであると仮定した場合の光透過率に近付けることが可能である。

【 0 0 6 7 】

従って、情報記録装置によって、L 1 層に対して O P C 処理を行う前に、L 0 層を記録済みの状態にするための記録動作を省略することが可能である。以上より、より迅速且つ的確に、L 1 層に対する最適記録パワーの値を検出することが可能となる。

【 0 0 6 8 】

他方、L 0 層が未記録の場合に対応した L 1 層に対する最適記録パワーの値は、L 0 層が未記録状態の透過エリア T A 0 - 2 を記録用レーザ光 L B が透過することによって、検出される。

【 0 0 6 9 】

加えて、エンボスピットにおいては、光透過率の調節のために形成されると共に、例えば、記録型光ディスクにおいて、著作権保護を目的とした特定の記録情報を暗号化又は復号化するためのエンクリプションキー（暗号化鍵）又は、複製管理情報（C C I : Copy Control Information）等が記録されることによって、より効率的な記録領域の利用が可能となる。

【 0 0 7 0 】

次に、比較例を示した図 4 を参照して本発明の情報記録媒体の第 1 実施例に係る光ディスクの作用効果について検討を加える。

【 0 0 7 1 】

図 4 に示されるように、比較例においては、L 0 層には、例えば、リードインエリア内

に、記録済みの状態の透過エリアT A 0-1及び、未記録状態の透過エリアT A 0-2が設けられている。

【0072】

他方、L 1層には、例えば、リードインエリア内に、前述した第1実施例と同様に、O P CエリアP C A 1が設けられている。

【0073】

このように、L 1層のO P CエリアP C A 1-1に対向するL 0層の透過エリアT A 0-1にエンボスピットが形成されていない場合、L 1層のO P CエリアP C A 1-1における最適記録パワーを適切に検出するためには、後述される情報記録装置によって、レーザー光が透過するL 0層の透過エリアT A 0-1を記録済み状態にする処理が必要となってしまう。

【0074】

これに対して、本発明の情報記録媒体の第1実施例に係る光ディスクによれば、前述したように、例えば、光ディスクの製造時にL 0層に設けられた透過エリアにエンボスピットが形成されているので、L 0層を記録済みの状態にするための記録動作を省略することが可能であるので、より迅速且つ的確に、L 1層に対する最適記録パワーの値を検出することが可能となる。

【0075】

（情報記録媒体の第2実施例）

次に図5を参照して、本発明の情報記録媒体の第2実施例に係る光ディスクについてO P C処理において使用されるO P Cエリアについてより詳細に説明する。ここに、図5は、本発明の情報記録媒体の第2実施例に係る光ディスクのO P C処理において使用されるO P Cエリアの物理的構造を拡大した図式的断面図である。

【0076】

情報記録媒体の第2実施例における基本構造及びO P C処理は、図1から図4を参照して説明した第1実施例と概ね同様である。

【0077】

情報記録媒体の第2実施例では特に、第1実施例を、更に発展させて、L 1層におけるO P C処理が行われるO P CエリアP C A 1-1を、対向するL 0層におけるエンボスピットが形成された透過エリアT Aより小さくするので、二層型の光ディスクにおける層間での偏心の影響やレーザー光の広がり等のためのマージンを確保することが可能となるので、より適切に、L 1層に対する最適記録パワーの値を検出することが可能となる。

【0078】

（情報記録媒体の第3実施例）

次に図6を参照して、本発明の情報記録媒体の第3実施例に係る光ディスクについてO P C処理において使用されるO P Cエリアについてより詳細に説明する。ここに、図6は、本発明の情報記録媒体の第3実施例に係る光ディスクのO P C処理において使用されるO P Cエリアの物理的構造を拡大した図式的断面図である。

【0079】

情報記録媒体の第3実施例における基本構造及びO P C処理は、図1から図4を参照して説明した第1実施例と概ね同様である。

【0080】

情報記録媒体の第3実施例では特に、第1実施例を、更に発展させて、L 1層に設けられたO P CエリアP C A 1-1及びP C A 1-2と、L 0層に設けられたO P CエリアP C A 0とは、半径方向に相互にずらされていて重ならないように構成されている。よって、O P CエリアP C A 1-1及びP C A 1-2に試し書きする際のレーザー光L Bは、例えば、L 0層に設けられた透過エリアT A又は未記録状態の透過エリアT A 0-2を透過するので、L 0層に設けられたO P CエリアP C A 0を通過しない。

【0081】

このため、O P CエリアP C A 0における状態、即ち、試し書き情報によって記録済み

かつ保持されるウォブル信号を基準にして、ヘッドドライブのウォブル信号の周波数に構成されている。

【0090】

LDドライバ320は、後述のOPC処理時には、後述のOPCパターンの記録及び再生処理により最適記録パワーの決定が行えるように、光ピックアップ310内に設けられた半導体レーザを駆動する。その後、LDドライバ320は、データ記録時には、OPC処理により決定された最適記録パワーで、光ピックアップ310の半導体レーザを駆動するように構成されている。このデータ記録時には、最適記録パワーは、記録データに応じて変調される。

【0091】

尚、上述したスピンドルモータ301、光ピックアップ310、サーボ回路315及びLDドライバ320等を含めて、本発明に係る「書込手段」の一具体例を構成している。

【0092】

ウォブル検出器325は、光ピックアップ310内に設けられた反射光ビームを受光する検出器たるヘッドアンプ311からの受光量に応じた出力信号に基づいて、ウォブル信号を示すプッシュプル信号を検出すると共にタイミング生成器345へ出力するように構成されている。

【0093】

LPPデータ検出器326は、光ピックアップ310内に設けられた反射光ビームを受光する検出器たるヘッドアンプ311からの受光量に応じた出力信号に基づいて、LPP信号を示すプッシュプル信号を検出し、例えば後述の如くプリフォーマットアドレス情報を検出可能に構成されている。そして、当該プリフォーマットアドレス情報をタイミング生成器345へ出力可能に構成されている。

【0094】

エンベロープ検波器330は、OPC処理におけるOPCパターンの再生時に、CPU400の制御下で、最適記録パワーを決定するために、ヘッドアンプ311からの出力信号たるRF信号のエンベロープ検波のピーク値及びボトム値を検出するように構成されている。係るエンベロープ検波器330は、例えばA/D (Analog/Digital) コンバータ等を含んでいるように構成されてもよい。

【0095】

OPCパターン発生器340は、記録動作前のOPC処理におけるOPCパターンの記録時に、タイミング生成器345からのタイミング信号に基づいて、OPCパターンを示す信号を、LDドライバ320に対して出力するように構成されている。

【0096】

タイミング生成器345は、OPC処理におけるOPCパターンの記録時に、LPPデータ検出器326より入力されるプリフォーマットアドレス情報に基づき、該プリフォーマットアドレス情報（例えば、ADIPワード）の管理単位を基準とした絶対位置情報を検出する。それと同時に、ウォブル信号を示すプッシュプル信号の周期に基づいて、プリフォーマットアドレス情報の管理単位より小さいスロット単位（例えば、ウォブル信号の一周期の自然数倍の長さに相当するスロット単位）を基準とした相対位置情報を検出する。よって、タイミング生成器345は、OPC処理における記録開始位置がプリフォーマットアドレス情報の管理単位、即ち、各ADIPワードの境界から開始されるか否かにかかわらず、その記録開始位置を特定することが可能であり、以後、ウォブル検出器325から出力されたウォブル信号を示すプッシュプル信号の周期に基づいて、OPCパターンを書き込むタイミング信号を生成して出力する。他方、タイミング生成器345は、OPC処理におけるOPCパターンの再生時に、記録時と同様に、その再生開始位置を特定することが可能であり、以後、ウォブル検出器325から出力されたウォブル信号を示すプッシュプル信号の周期に基づいて、再生されたOPCパターンをサンプリングするタイミング信号を生成して出力する。

【0097】

ノーマル収束角のビームは、エンベロープ検波器で検出される。例えば、光ピックアップ310が構成されている。エンベロープ検波器330で検波されたエンベロープがデータ収集器350に格納され、これに基づいて、CPU400における最適記録パワーの検出、即ち、OPC処理が実行される。

【0098】

バッファ360は、DVDモジュレータ370より変調された記録データを格納し、LDドライバ320に出力可能に構成されている。

【0099】

DVDモジュレータ370は、記録データに対してDVD変調を施し、バッファ360に出力可能に構成されている。DVD変調として、例えば8/16変調が施されてもよい。

【0100】

データECC生成器380は、インタフェース390より入力される記録データに対してエラー訂正用の符号を付加する。具体的には、所定のブロック単位（例えば、ECCクラスタ単位）毎にECCコードを付加し、DVDモジュレータ370へ出力する。

【0101】

バッファ385は、RF検出器312から出力される再生データを格納し、インタフェース390を介して、外部出力機器へ出力する。

【0102】

インタフェース390は、外部入力機器より記録データ等の入力を受け付け、データECC生成器380へ出力する。また、例えばスピーカやディスプレイ等の外部出力機器に対して、RF検出器312より出力される再生データを出力可能に構成されていてもよい。

【0103】

CPU400は、最適記録パワーを検出するために、例えば、LDドライバ320、サーボ回路315等の各手段へ指示する、即ちシステムコマンドを出力することで、情報記録再生装置300全体の制御を行う。通常、CPU400が動作するためのソフトウェアは、内部又は外部のメモリ内に格納されている。

【0104】

尚、上述したCPU400、エンベロープ検波器330、OPCパターン発生器340、タイミング生成器345及びLDドライバ320等を含めて、本発明に係る「試し書き制御手段」の一具体例を構成している。

【0105】

また、図7に示す情報記録再生装置300は、概ね光ピックアップ310、LDドライバ320、バッファ360、DVDモジュレータ370、データECC生成器380、その他の構成要素によりデータの記録が可能な情報記録装置として機能し、また概ね光ピックアップ310、ヘッドアンプ311、RF検出器312、その他の構成要素によりデータの再生が可能な情報再生装置としても機能することはいうまでもない。

【0106】

（情報記録再生装置による記録動作の流れ）

次に図8を参照して、本実施例に係る情報記録再生装置に係る実施例において光ディスクの記録動作及びOPC処理の流れについて詳細に説明する。ここに、図8は本発明の情報記録装置に係る実施例における情報記録再生装置の光ディスクの記録動作及びOPC処理を示したフローチャート図である。

【0107】

図8において、先ず光ディスク100が装填されると、CPU354の制御下で、光ピックアップ352によりシーク動作が行われ、光ディスク100への記録処理に必要な各種管理情報が取得される。この管理情報に基づいて、CPU354の制御により、例えば外部入力機器等からの指示に応じて、データ入出力制御手段306を介して光ディスク100のデータの記録動作を開始するか否か判定される（ステップS101）。ここで、光

、記録対象となる記録層がL0層及びL1層であるか否かが判定される（ステップS102）。ここで、記録対象となる記録層がL0層及びL1層である場合（ステップS102：Yes）、L0層及びL1層のOPC処理が行われるOPCエリア内のアドレス情報が特定される（ステップS103）。

【0108】

続いて、L1層のOPCエリアPCA1に対向するL0層の透過エリアTA又はTA0-2において、エンボスピットが形成されているか否かが判定される（ステップS104）。ここで、L0層の透過エリアTA又はTA0-2において、エンボスピットが形成されている場合（ステップS104：Yes）、L0層に対しては、OPCエリアPCA0に対してOPC処理が行われると共に、L1層のOPCエリアPCA1-1に対しては、透過エリアTAを透過したレーザ光LBによって、OPC処理が行われる（ステップS106）。特に、本実施例では、前述に説明したように、従って、情報記録装置によって、L1層のOPCエリアPCA1-1に対してOPC処理を行うに際して、L0層の透過エリアTAへの事前の記録動作を省略することが可能であるので、より迅速且つ的確に、L1層に対する最適記録パワーの値を検出することが可能となる。

【0109】

他方、L0層の透過エリアTA又はTA0-2において、エンボスピットが形成されていない場合（ステップS104：No）、L0層の透過エリアTA0-2において、記録動作が行なわれ（ステップS105）、記録済みの状態が形成され、前述したステップS106へと進む。

【0110】

続いて、ステップS106のOPC処理において検出された最適記録パワーにより、L0層及びL1層へのデータの記録が行われる（ステップS107）。

【0111】

他方、ステップS102の判定の結果、記録対象となる記録層がL0層及びL1層でない場合（ステップS102：No）、更に、記録対象となる記録層がL0層のみであるか否かが判定される（ステップS108）。ここで、記録対象となる記録層がL0層のみである場合（ステップS108：Yes）、L0層のOPC処理が行われるOPCエリアPCA0内のアドレス情報が特定される（ステップS109）。

【0112】

続いて、L0層のOPCエリアPCA0に対してOPC処理が行われる（ステップS110）。

【0113】

続いて、ステップS110において算出された最適記録パワーにより、L0層へのデータの記録が行われる（ステップS111）。

【0114】

他方、ステップS108の判定の結果、記録対象となる記録層がL0層のみでない場合、記録対象となる記録層がL1層のみである場合（ステップS108：No）、L1層のOPC処理が行われるOPCエリア内のアドレス情報が特定される（ステップS112）。

【0115】

続いて、L1層のOPCエリアに対向するL0層の透過エリアにおいて、エンボスピットが形成されているか否かが判定される（ステップS113）。ここで、L0層の透過エリアにおいて、エンボスピットが形成されている場合（ステップS113：Yes）、L1層に対してOPC処理が行われる（ステップS115）。特に、本実施例では、前述に説明したように、従って、情報記録装置によって、L1層に対してOPC処理を行うに際して、L0層への事前の記録動作を省略することが可能であるので、より迅速且つ的確に、L1層に対する最適記録パワーの値を検出することが可能となる。

【0116】

他方、L1層の透過エリアにおいて、エンボヘリットが形成されていない場合（ステップS113：No）、L0層の透過エリアにおいて、記録動作が行なわれ（ステップS114）、記録済みの状態が形成され、前述したステップS115へと進む。

【0117】

続いて、ステップS115において算出された最適記録レーザーパワーにより、L1層へのデータの記録が行われる（ステップS116）。

【0118】

続いて、データの記録動作を終了するか否かが判定される（ステップS117）。ここで、データの記録動作を終了する場合（ステップS117：Yes）、情報記録装置による一連の記録動作は完了される。

【0119】

他方、データの記録動作を終了しない場合（ステップS117：No）、前述した、記録対象となる記録層がL0層及びL1層であるか否かが判定される（ステップS102）。

【0120】

他方、ステップS101の判定の結果、光ディスク100のデータの記録動作を開始しない場合（ステップS101：No）、例えば、記録動作開始コマンド等の指示を待つ。

【0121】

本実施例では、情報記録媒体の一具体例として、例えば、2層型DVD-R又はDVD-R/W等の追記型又は書き換え型光ディスク、並びに、情報記録装置の一具体例として、該光ディスクの情報記録再生装置について説明したが、本発明は、例えば、3層型や、4層型等のマルチプルレイヤ型の光ディスク、並びに、該光ディスクの情報記録再生装置にも適用可能である。更に、ブルーレイ（Blue-ray）ディスク等の大容量記録媒体及び該記録媒体の情報記録再生装置にも適用可能である。

【0122】

本発明は、上述した実施例に限られるものではなく、請求の範囲及び明細書全体から読み取れる発明の要旨或いは思想に反しない範囲で適宜変更可能であり、そのような変更を伴う情報記録媒体、情報記録装置及び方法もまた本発明の技術的範囲に含まれるものである。

【図面の簡単な説明】

【0123】

【図1】本発明の情報記録媒体の第1実施例に係る複数の記録領域を有する光ディスクの基本構造を示した概略平面図（図1（a））及び、該光ディスクの概略断面図と、これに対応付けられた、その半径方向における記録領域構造の図式的概念図（図1（b））である。

【図2】本発明の情報記録媒体の第1実施例に係る光ディスクの記録面における部分拡大斜視図である。

【図3】本発明の情報記録媒体の第1実施例に係る光ディスクのOPC処理において使用されるOPCエリアの物理的構造を拡大した図式的断面図である。

【図4】比較例に係る光ディスクのOPC処理において使用されるOPCエリアの物理的構造を拡大した図式的断面図である。

【図5】本発明の情報記録媒体の第2実施例に係る光ディスクのOPC処理において使用されるOPCエリアの物理的構造を拡大した図式的断面図である。

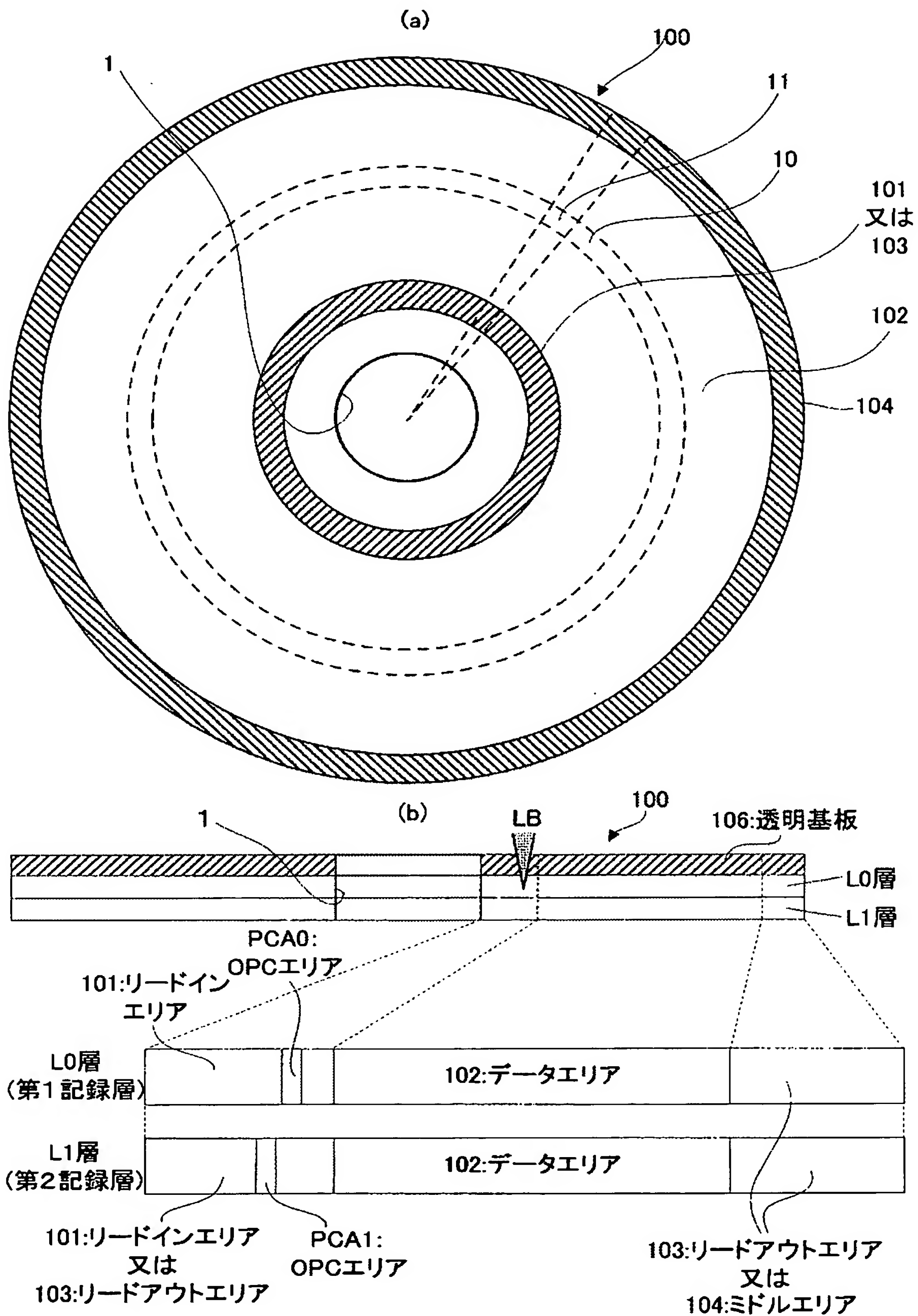
【図6】本発明の情報記録媒体の第3実施例に係る光ディスクのOPC処理において使用されるOPCエリアの物理的構造を拡大した図式的断面図である。

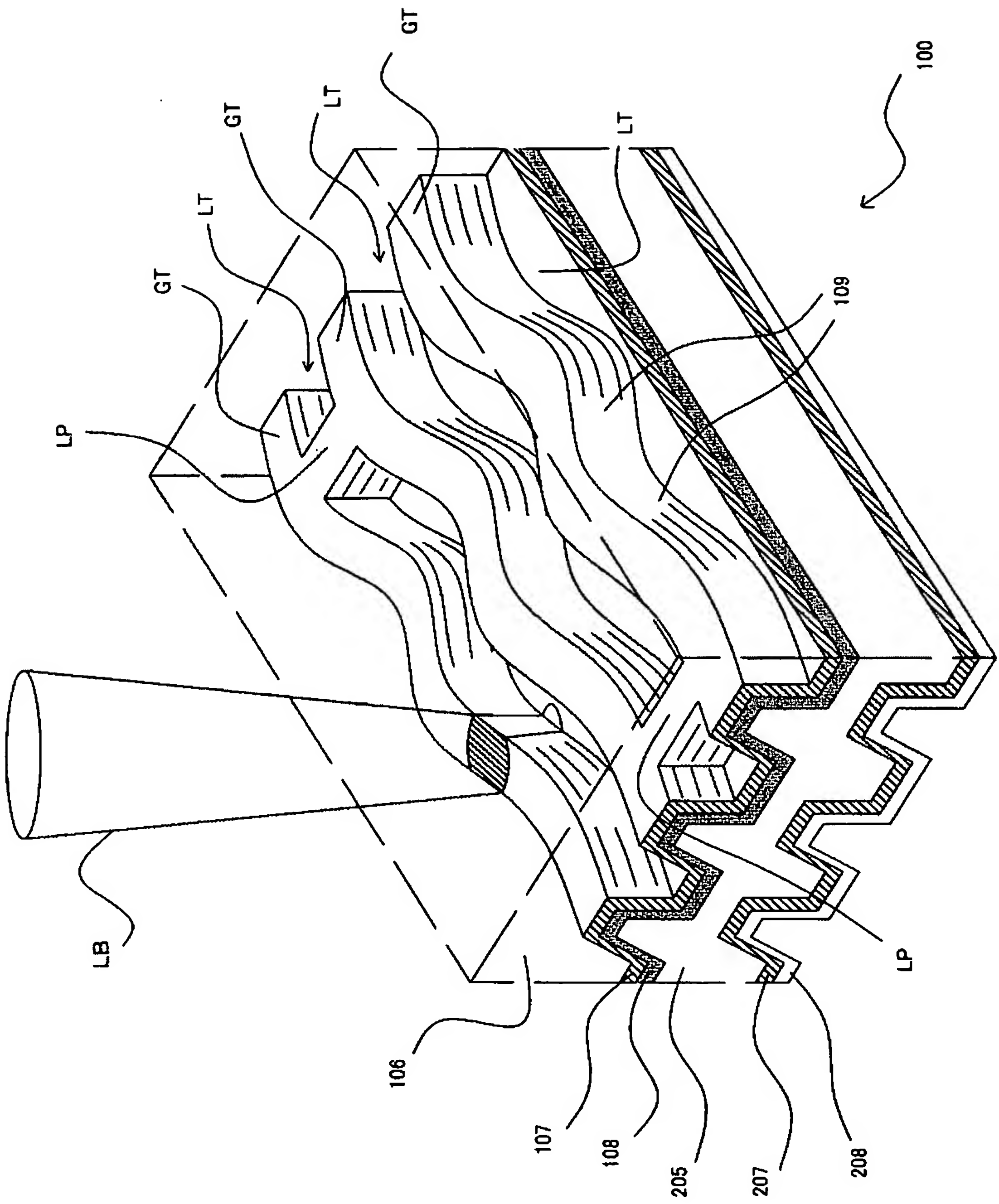
【図7】本発明の情報記録装置の実施例に係る情報記録再生装置の基本構成を概念的に示すブロック図である。

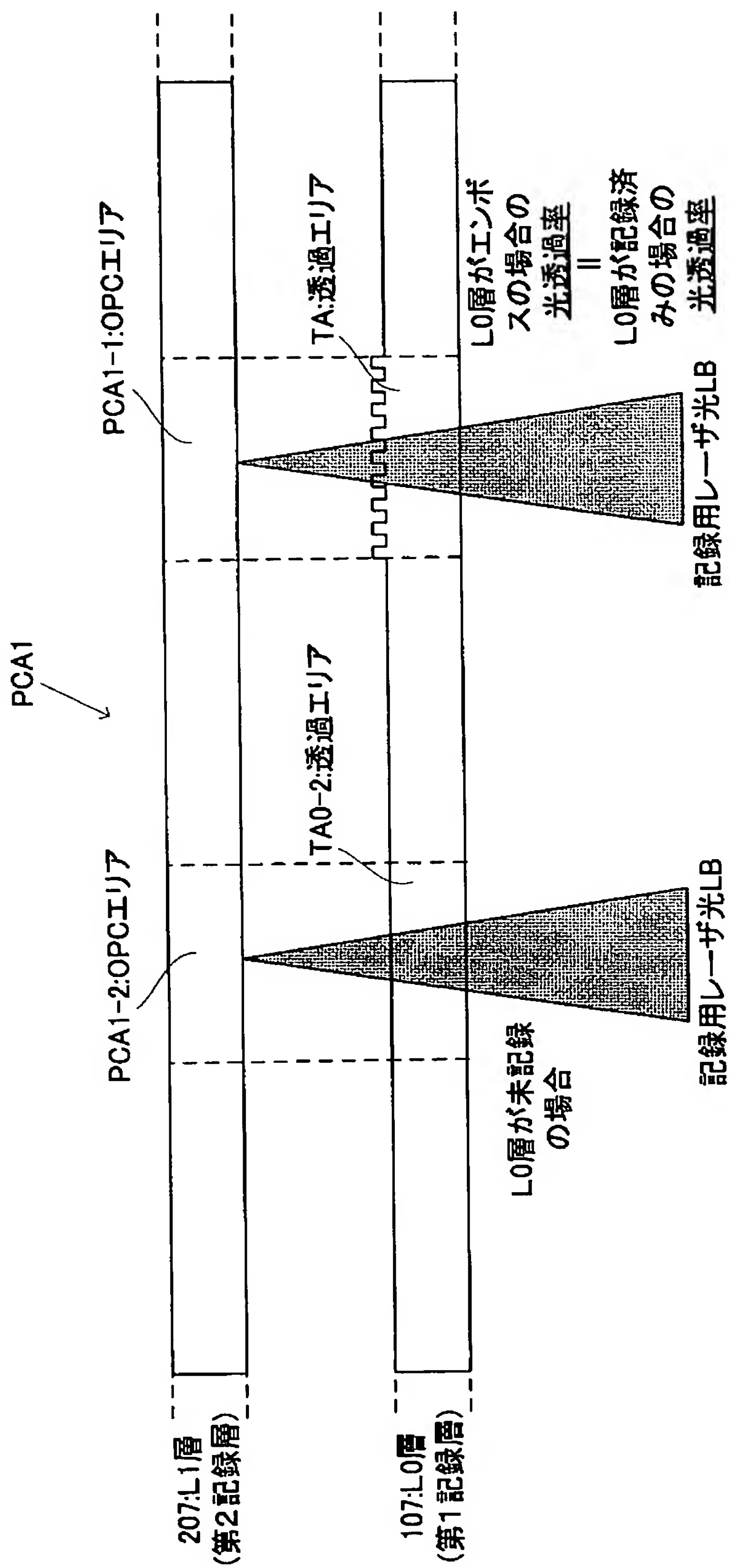
【図8】本発明の情報記録装置に係る実施例における情報記録再生装置の光ディスクの記録動作及びOPC処理を示したフローチャート図である。

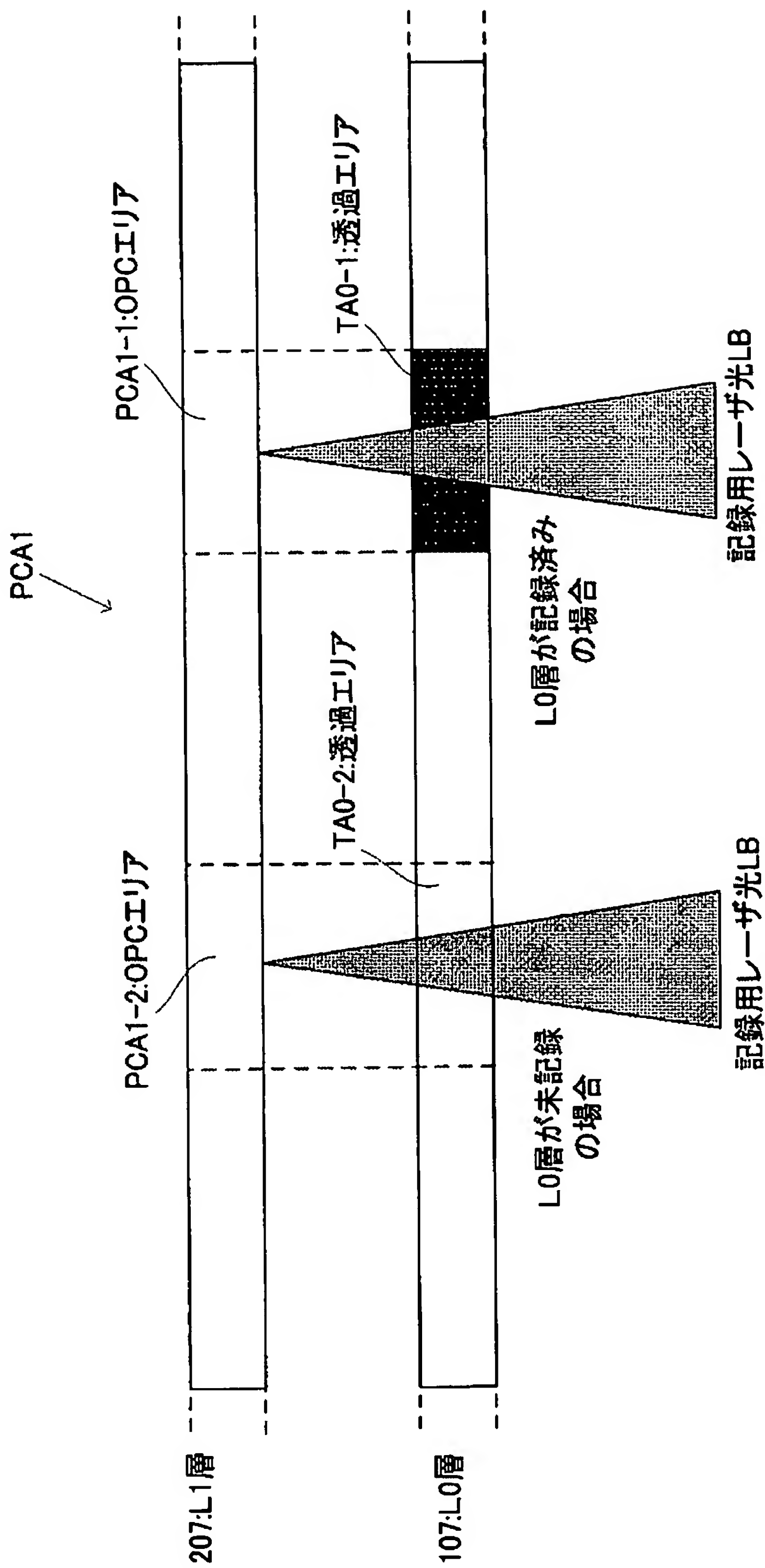
【符号の説明】

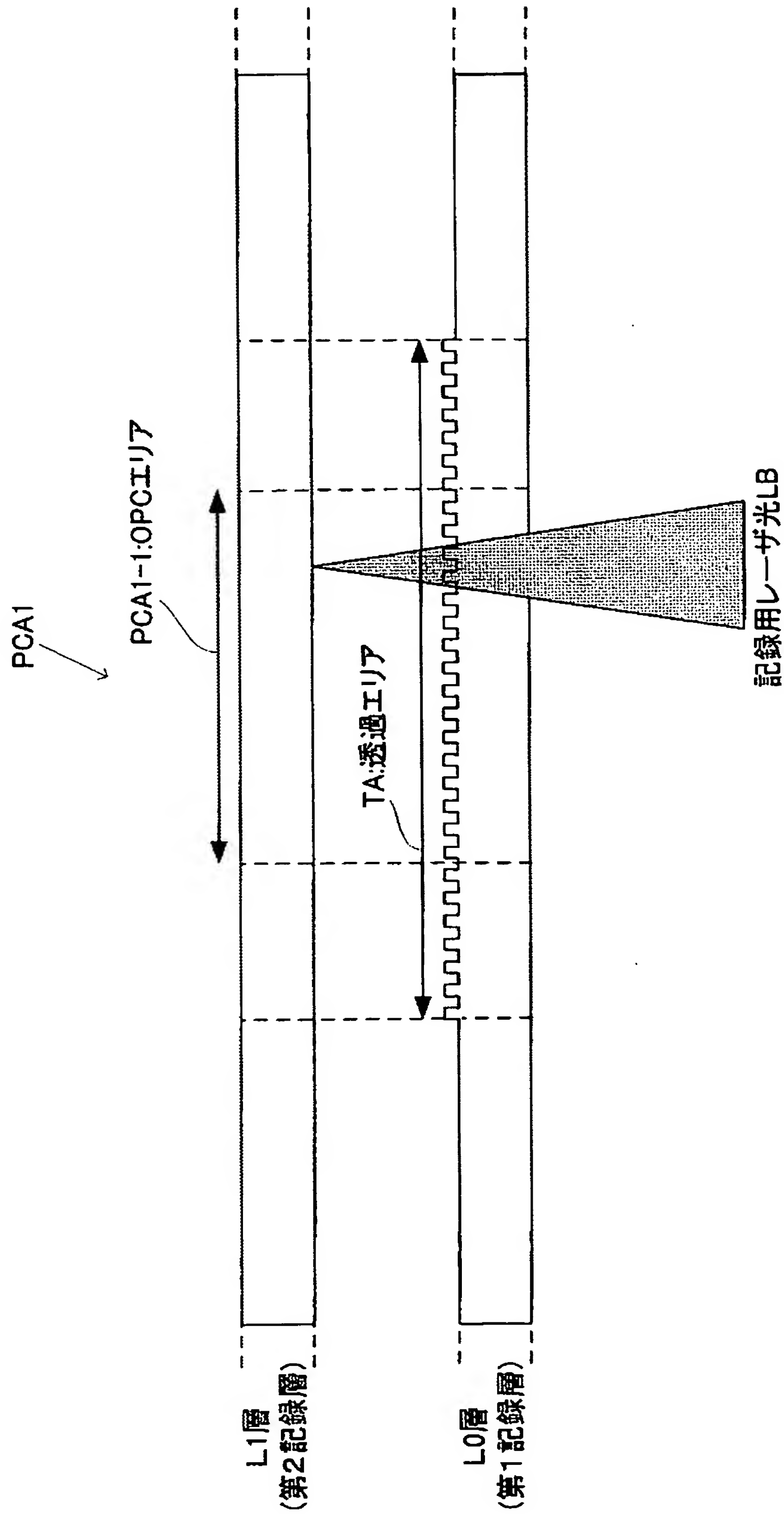
一 … センターホール、一〇 … トラック、一一 … セクタ、一〇〇 … 光ディスク、一〇一 … リードインエリア、一〇二 … データエリア、一〇三 … リードアウトエリア、一〇四 … ミドルエリア、一〇六 … 透明基板、一〇七 … 第一記録層、一〇八 … 半透過反射膜、一〇九 … ウォブル、二〇五 … 中間層、二〇七 … 第二記録層、二〇八 … 反射膜、三〇〇 … 情報記録再生装置、三〇一 … スピンドルモータ、三一〇 … 光ピックアップ、三一一 … ヘッドアンプ、RF検出器 … 三一二、サーボ回路 … 三一五、LDドライバ … 三二〇、三二五 … ウォブル検波器、三二六 … LPPデータ検出器、三三〇 … エンベロープ検波器、三四〇 … OPCパターン生成器、三四五 … タイミング生成器、三五〇 … データ収集器、三六〇 … バッファ、三七〇 … DVDモジュレータ、三八〇 … データECC生成器、三八五 … バッファ、三九〇 … インタフェース、四〇〇 … CPU、GT … グループトラック、LT … ランドトラック、LB … レーザ光、LP … ランドプリビット、TA (TA〇ー一 及び TA〇ー二) … 透過エリア、PCA〇 (PCA一、PCA一ー一 及び PCA一ー二) … OPCエリア

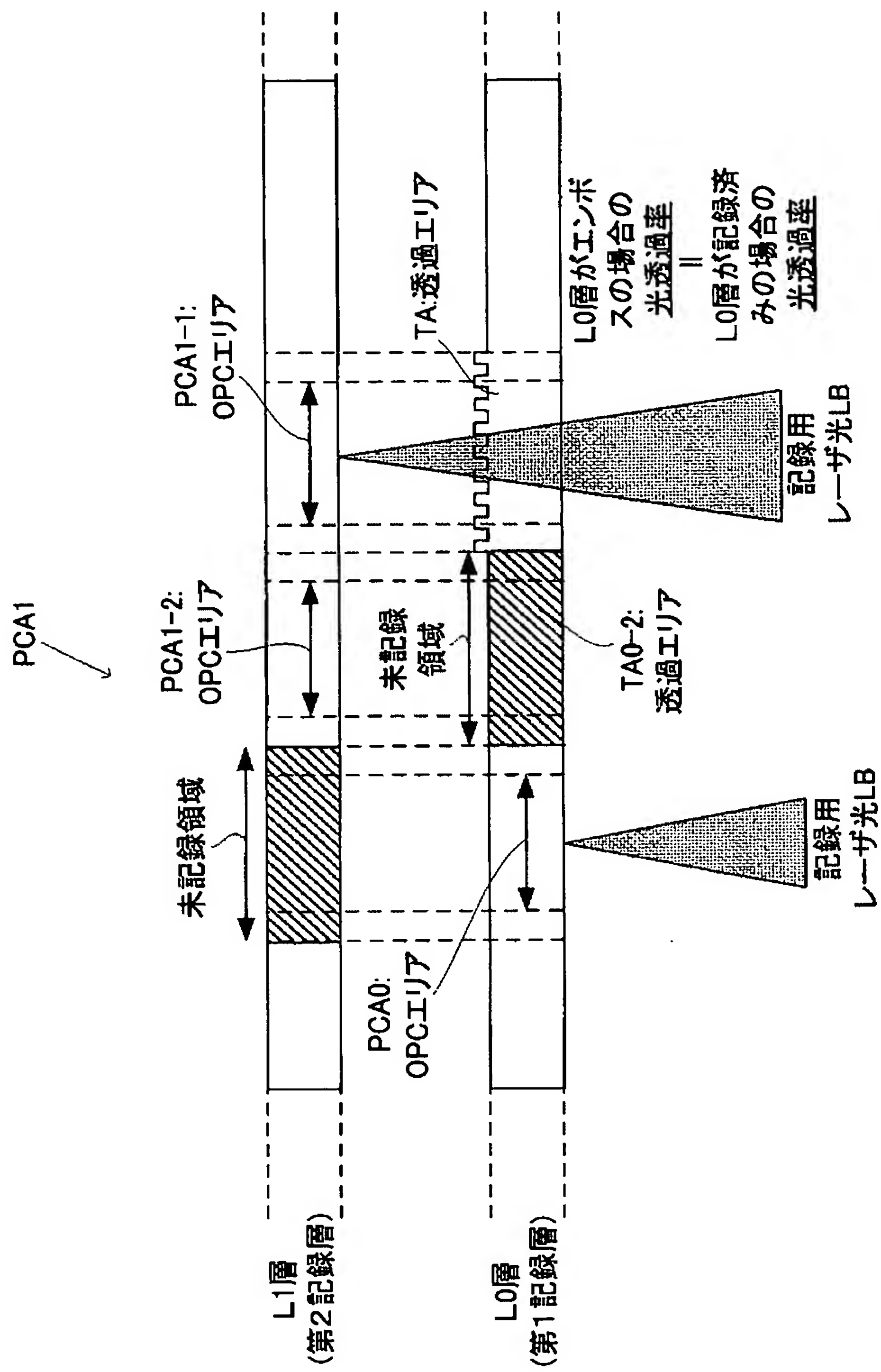


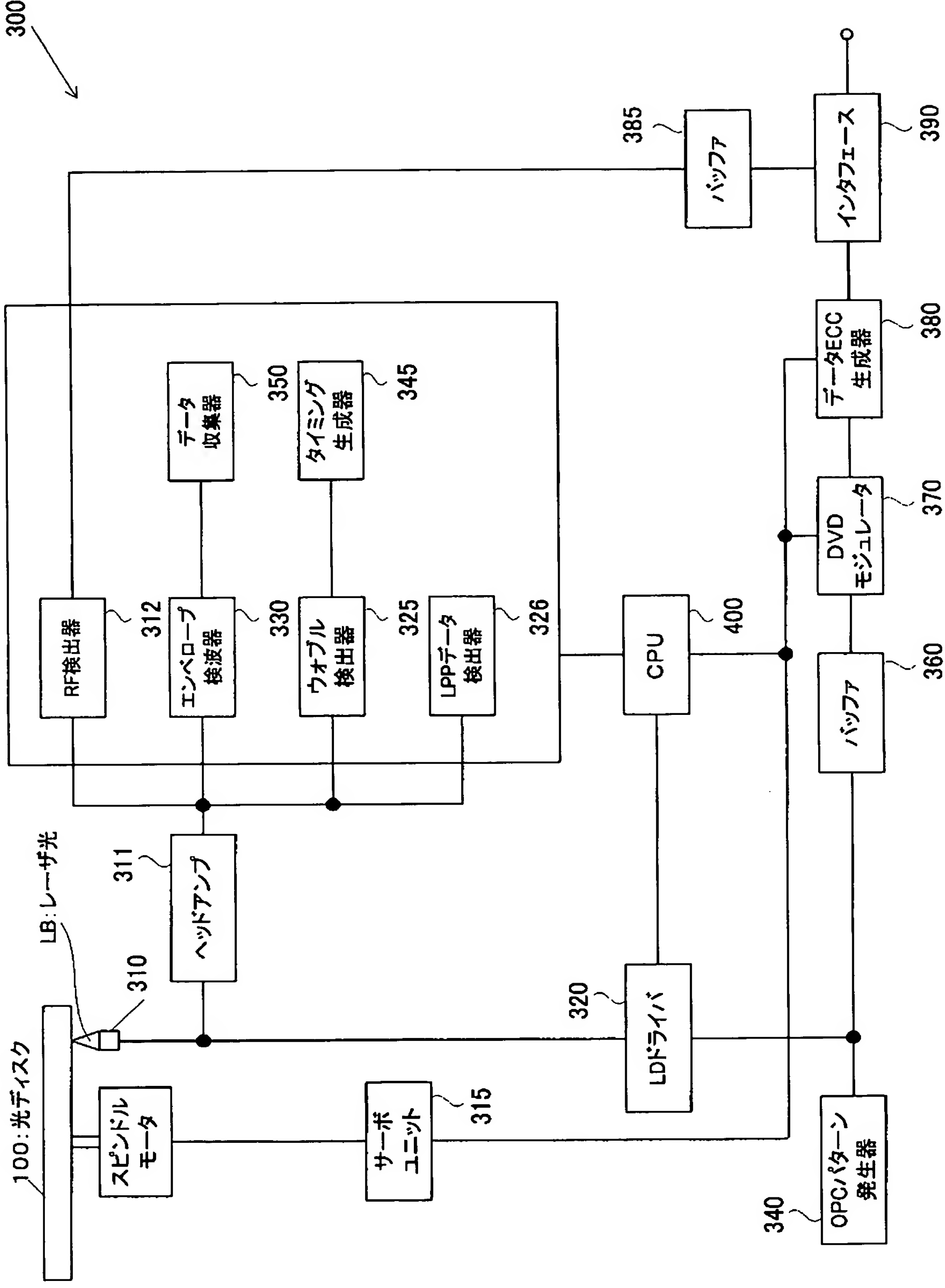


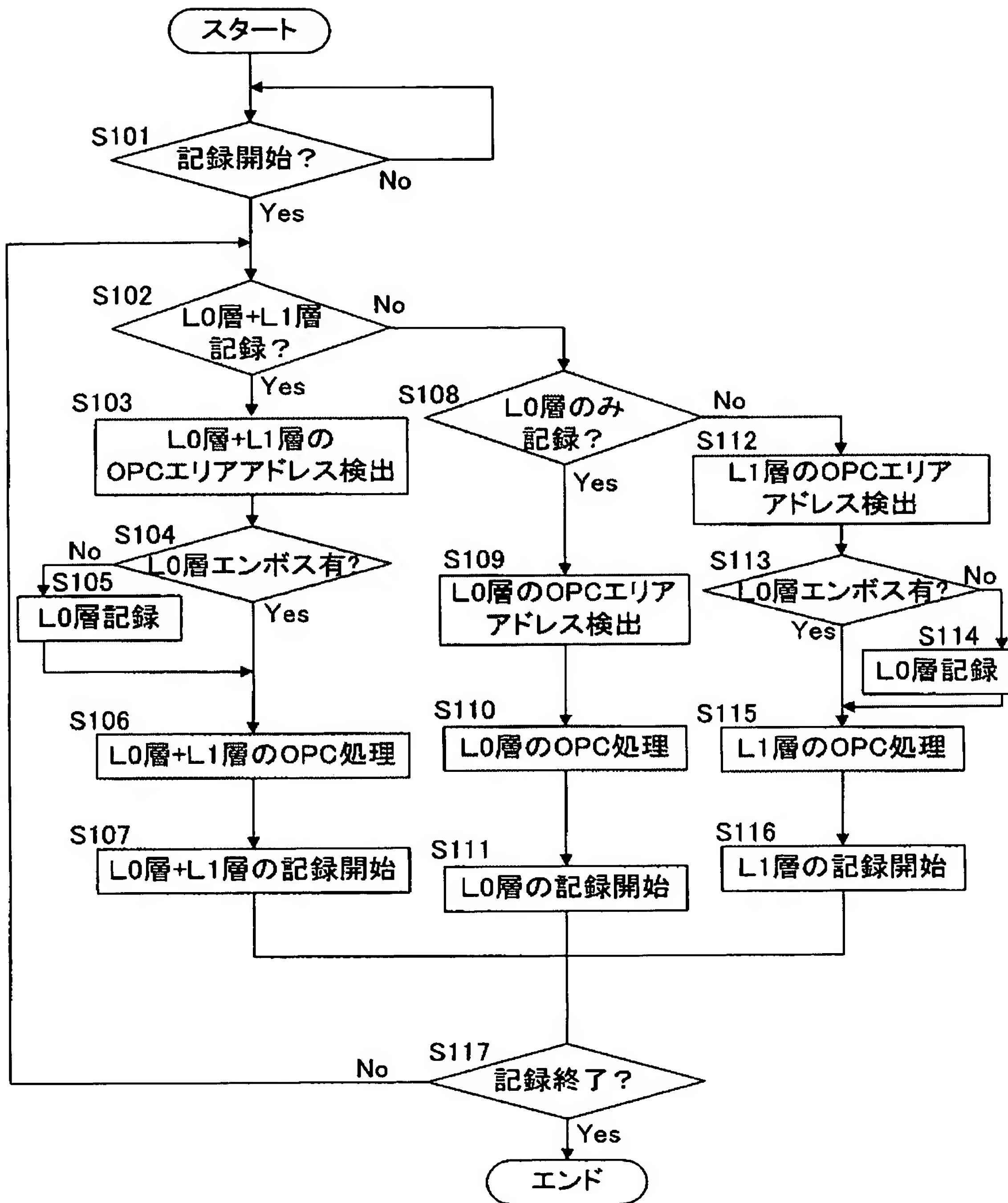












【要約】

【課題】

例えば複数の記録層の夫々について、効率的に試し書きを行なうことを可能とする。

【解決手段】

第1情報を記録するための第1記録層（L0層）と、第1記録層上に配置されると共に、第2情報を夫々記録するための一又は複数の第2記録層（L1層等）とを備えており、第2記録層の各層は、該各層よりも第1記録層側に位置する第2記録層の他の層及び第1記録層を透過した記録用レーザ光の最適記録パワーを検出するパワーキャリブレーションが行われる所定領域（PCA1-1）を有し、他の層及び第1記録層における、対向領域（TA）では、エンボスピットが形成されることによって、対向領域における光透過率が、エンボスピットが形成されておらず且つ他の層及び第1記録層が未記録であると仮定した場合の光透過率と比べて、エンボスピットが形成されておらず且つ他の層及び第1記録層が記録済みであると仮定した場合の光透過率に近付けられている。

【選択図】 図3

0

0 0 0 0 0 5 0 1 6

3

19900831

新規登録

東京都目黒区目黒1丁目4番1号
バイオニア株式会社

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/010340

International filing date: 06 June 2005 (06.06.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-172529
Filing date: 10 June 2004 (10.06.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 04 August 2005 (04.08.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse